

令和 4 年度
事業計画

新潟カリタス会

2年前の初春に新型コロナがまん延してからこれまで社会全体が冷え切ってしまい、生活様式も変わり我慢の年でした。施設内でも同じく行動の制約から情緒不安定になる子どもも一部いました。しかし、これからは菌の弱体化によって落ち着き、人の流れ、教育、福祉、経済も活気づき、子どもの活発な動き、笑顔が見られる世の中になってほしいです。

コロナ禍で特徴的なことはオンラインでの会議・研修会が殆どであったことです。画面を通し顔が見え、いつ質問がくるか緊張感がありますが、臨場感はありません。場を共有していない故、今一熱気が伝わってこず、相手が遠くにいるように感じてしまいます。今年は臨場感溢れ、活発に意義のある1年になることを望みます。

1. 新 WEB 経営診断

社会福祉法人は公益性の高い非営利法人であることから、運営には最近の福祉動向・及び社会福祉法人経営を取り巻く状況を考え、安定的な継続が求められています。

このことを踏まえ、全国社会福祉法人経営者協議会による新 WEB 経営診断を活用し、チェックリスト、組織風土診断、財務分析を行い、内部環境の分析、職員間のギャップ、財務面の把握に努めます。

2. 社会的養護とフォスタリング

当施設は一度入所すると長期にわたって暮らす子どもが多い。施設は一時的な解決であり、スタートに立つのでありゴールではない。家庭復帰又は親族や養子縁組、他施設への移行、国の施策である里親事業のフォスタリングに繋げ、この流れの中で子どもの幸せを願っていききたい。新潟カリタス会の基本理念のもとで育てていく。

3. 地域支援センターの活用

『新潟天使園地域支援センターコミッテ』、『カリタス会見附地域支援センター』が発足して間もない。今は研修会、会議、様々の集り、里親支援事業に使用されている。現状は施設が地域に根ざした福祉活動まで至っていない。地域交流、地域貢献における基本方針及び公益的取り組み計画に基づき、実践に繋げたい。

4. 法人の理念と基本方針

数十年ぶりに新潟カリタス会の理念と基本方針を書き換え、含まれる内容や考え方は以前と同じではあるが、今後の方針として建学の精神を踏まえていく。

令和 4 年度

事業計画

聖母乳児院

聖母乳児院は、新潟カリタス会の理念及び施設の理念・基本方針と「子どもの“いのち”を尊重し“こころ”を育てる」「子どもの“育ち”をつなぐ」という使命のもと、社会的養護を必要とする子どもと家族にとって最もふさわしい養育環境を提供し、地域社会の中で安心して暮らせるようにサポートすることを事業の目的としています。

今後の乳児院が目指す「専門的養育機能」「一時保護機能」「親子関係構築支援機能」「アフターケア機能」「フォスターリング機能」の更なる充実を図るため、人材を確保、育成し、運営の質の向上に努めます。

1. 組織、経営、運営の強化

- ① 経営課題の明確化と改善に向けた取り組み
- ② 経営、運営、財務に関する知識の深化
- ③ 法人及び施設の理念・基本方針の理解と養育支援等への反映
- ④ 将来像と各職種及び階層別の役割・責任の可視化、共有化

2. 職員の資質向上と人材育成マネジメント

- ① 研修体系に基づく OJT、OFF-JT、SDS の実施と評価
- ② マニュアルに基づく業務遂行と業務改善の取り組み強化
- ③ キャリアパス表の見直しと個別研修計画への反映
- ④ 専門委員会の立ち上げと活動計画に基づく取り組み

3. 子どもの育ちの保障

- ① 子どもの「こころ」と「からだ」を育む環境の整備
- ② 養育の連続性確保のためのチーム養育の取り組み
- ③ 共通の発達指標に基づく子どもの育ちの評価と支援の実践
- ④ 医療・療育を必要とする子どもの支援の質向上

4. 子どもの権利擁護

- ① 職員倫理規程、行動指針、チェックリストを活用した養育の振り返りと権利侵害の未然防止
- ② リスクマネジメント体制の強化と事業継続マネジメントの構築
- ③ 子どもの代弁者としての最善の利益の追求

5. 地域支援、保護者支援、里親支援の充実

- ① 地域支援センターを活用した子育て支援活動の取り組み

② 改訂版『育児の手引き』『里親の手引き』を活用した保護者支援、里親支援の充実

6. フォスタリング事業の取り組み

- ① フォスタリング業務担当職員の確保、育成
- ② 里親トレーニング事業の実施（継続）
- ③ 関係機関との協働による里親支援連絡会開催、里親相談支援、普及啓発活動の実施

7. 第三者評価の取り組み

- ① 令和3年度受審結果に基づく改善計画の策定及び実践と自己評価

8. 施設設備整備

- ① 養育の連続性確保のための環境整備
- ② 快適な環境の整備と必要な修繕、維持管理

令和 4 年度

事業計画

聖母愛児園

児童養護施設聖母愛児園は「子どもの権利に関する条約」「児童福祉法」の基本理念をふまえ運営します。創始者の理念のもとにつけられた、新潟カリタス会の「カリタス」は「愛」であることを心に刻み、一人ひとりが “ 生まれてきてよかった ” と実感できるよう、温かく愛情にみちた養育をめざして自立支援に努めます。また、入所する子ども達の多様化と、施設に求められる高機能に対応できる人材育成と、質の向上を図ります。

又、地域貢献事業として、カリタス会見附地域支援センターを活用し取り組みを進めます。

1. 組織の強化

- (1)全職種の職員が、養育の質の向上にむけて、基本意識としてミッション(使命) パッション(情熱)、アクション(行動)を持ち、伝統文化を作り上げていく
- (2)求められるリーダー、幹部職員の育成と、マネジメント能力の育成

2. 財務管理の知識の周知と、財政基盤の安定

- (1)財務に関する必要な知識の周知
- (2)入所率の維持と、長期的に安定した経営の維持
- (3)内部留保の把握と、充実計画の作成

3. 財務管理の透明性と、信頼される経営の維持

- (1)ホームページ、あすなる会報にて「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「財産目録」「貸借対照表」等の情報を開示し、財務の透明性に努める
- (2)情報を公開し、地域社会からの信頼性を得られるよう、よりよい経営をめざす。

4. 人材確保と定着

- (1)リニューアルしたパンフレット及び、ホームページを活用し、児童養護施設が魅力ある職場と思えるよう、各学校との連携の強化
- (2)初任給の見直しをし人材確保に努める
- (3)働きがいや仕事に対する充実感が得られる体制づくり

5. 職員の資質向上と、育成マネジメント

- (1)昨年度作成した「養育支援マニュアル」を活用し、基本姿勢の統一と定着を図り次世代に繋げる
- (2)OJT 推進体制に則り養育の質の向上を図るため、各自キャリアパスの視点を意識化し、その役割を行動に繋げる
- (3)PDCA サイクルに基づく振り返りを継続し、個々の職員がチームとして機能することをめざす
- (4)各専門職との連携を強化し、各自がアセスメント力を向上させる
- (5)高機能化に対応できる施設づくりをめざし、ケース会議の進め方のスキルの向上、支

援の明確化、チームアプローチに結び付ける

(6)子ども達のかげがえのない命を尊重し、「安心・安全」な生活ができるよう、事故報告、ヒヤリハット、不適切な関わりの事例を検証し、再発防止に向けて組織として取り組む

(7)養育の支援において起こりうる、抱え込み、孤立感、疲弊感、怒りの感情等コントロールをする理論の習得及び、実践トレーニングを実施し、共に支え合う組織づくりを目指す

6. 子どもの権利擁護

(1)愛児園版冊子「大切なあなた」や「権利ノート」を活用し、自分も他者も権利は等しいことを周知する

(2)学習会やCAPセミナーを通して、すべての子どもが安心・自信、自由に生活できる権利を有することの風土づくりをめざし、権利や人権について、子どもと共に学ぶ事に取り組む

(3)「人権擁護チェックリスト」の実施後、検証し、実践に結び付け、権利侵害の防止の徹底を図る

7. 自立支援

(1)自立支援委員会、FSW との連携強化を図り、自立にむけた支援の具体的な計画と実践を行う

(2)ケースに応じた適切な時期を見極め、生い立ちの整理、LSW を進めていく

(3)適切な時期に家庭状況の再アセスメントを行い、ケースに応じて(2)と並行した親子関係の調整を進めていく

(4)地域の資源や福祉制度に関する知識を深め、子ども達の卒業後の選択肢に還元する

8. 関係機関との連携

(1)他機関(幼稚園、学校、児相、医療、要対協、包括支援センター、地域の資源等)と連携し、適格性、確実性、スピードを意識した支援に努める

(2)FSW を中心に、支援に必要な状況把握の共有と、関係機関との連携の強化に努める

9. 地域貢献

(1)地域交流・地域貢献における基本方針及び公益的取組計画に基づき、実践に繋げる

(2)カリタス会見附地域交流センターを活用し、年間計画により地域社会に貢献する

10. アフターケアの充実

(1)卒園児童のフェイスシートを作成し、現状把握(整理)と、今後の支援の方向性を具現化する。

(2)退所児童の個々の支援と状況を把握し、毎月の職員会議にて全職員が共有する

(3)自立支援棟の活用と整備(建物管理と利用児童へ支援等)

(4)アフターケアに関する幅広い情報を収集し、ニーズの把握と、アフターケアの事業の将来像を描く

11. 第三者評価自己評価

(1)昨年度の外部評価の結果をふまえ、改善計画の策定及び実践に努める

12. 施設整備

(1)本園及び3つのグループホームの建物及び敷地の維持管理に努める

(2)快適な環境整備に取り組む

令和 4 年度
事業計画

新潟天使園

児童養護施設のあり方が問われはじめている。今まで気づき上げてきたことを忘れず、すべての子どもたちの命を守りまた未来を願い、前向きに歩み続ける1年にしたい。

現在、高学令児童の多いなかで、18歳未満の年齢条件が規制緩和されたことがあり、また一人ひとりの家族状況や進路に関する支援が多様化してきていることから、情報収集や他の関係者関係機関との連携が大切になっている。生活しているすべての入所児童一人ひとりの成長と自立を促進するためにも、更なる職員の支援力や発揮するための組織力の強化を図ることが大切である。

またコロナ禍であっても地域共生を進めるためにそのあり方を模索していきたい。

1. 経営基盤、運営管理の強化（施設の運営管理）

- (1) 経営や運営に関する予算や経費について職員全体の共有促進
- (2) 諸会議を利用したの園内研修の実施

2. 組織体制の整備、職員の育成マネジメントと定着（職員の確保と養成）

- (1) 職員のOJTをふくむ業務に関する体制確立とレベルアップ
- (2) 研修計画の整備とオンラインによる研修やキャリアパスに関する研修への積極的な参加

3. 支援内容の充実（支援体制の整備と充実）

- (1) 権利擁護に基づく自立支援の充実
- (2) 高齢児、退所児の支援の充実
- (3) 余暇、行事等の社会体験の充実

4. 施設整備と地域社会への公益的取り組みの推進（敷地や建物の管理と地域との連携）

- (1) 安全な住環境の確立。特に敷地内の防災防犯対策の整備
- (2) 社会貢献や地域交流についての具体的な取り組み
 - ① 地域の子育て支援や里親支援、関係機関との連携等の実施
 - ② 地域支援センター「コミッテ」の有効活用

5. 施設運営の総点検（社会福祉・児童福祉の動向）

- (1) 受審結果の検討と第三者評価の自己点検の実施
- (2) 地域支援センター「コミッテ」の運営整備
 - ① 里親支援、地域の子育て支援
 - ② 地域への普及活動

令和 4 年度

事業計画

あすなろ児童クラブ
第二あすなろ児童クラブ

国の定める「放課後児童クラブ運営指針」及び、運営主体である「見附市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」を遵守し、子どもの最善の利益を考慮し、子どもの状況や発達段階に応じた、適切な「遊びの場」及び「生活の場」を提供できるよう環境を整え、遊びを通して自主性、社会性、創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等、子どもの健全な育成を図る。

1. 経営、運営、組織の強化

- ①本園と連携を図り、課題解決に取り組む
- ②見附市の委託事業であることをふまえ、見附市教育委員会子ども課との連携により、健全な運営に取り組む

2. 放課後児童支援員、補助員の専門性と資質の向上

- ①個々の発達段階及び発達過程を理解し、主体的、創造的な活動ができるように支援する
- ②支援員認定資格研修への参加及び、内部研修、外部研修に参加し、知識と技術を習得し、個々の職員の資質の向上を図る
- ③日常的に発生する子どもの問題行動に対し、情報交換や情報共有し、直面した課題の解決に取り組む

3. 育成・支援

- ①子ども一人ひとりと、子ども集団が共に満足度の高い過ごし方ができるよう、保護者、職員の連携の強化を図る
- ②子どもの発達に即した遊びと活動ができるよう、環境の整備と支援に努める

4. 安全確保・事故及び感染症の防止

- ①子どもが安全に過ごすことができるよう、危機意識を常に持ち、「子どもの安全確保が最優先である」ことを常に念頭におく
- ②災害時対応マニュアルにより、計画的に訓練を実施する
- ③下校時の交通安全指導の実施と、社会規範のマナーや社会性を養い、年齢に応じた行動がとれるよう支援に努める
- ④AED 操作法による救急法研修、不審者対応訓練の実施をする
- ⑤地域社会より、AED の要請があった場合は協力する
- ⑥感染症(ノロウイルス、コロナウイルス等)の衛生マニュアルを活用し、内部研修により対応方法を習得する

5. 権利擁護

- ①人権チェックリストの実施をし、不適切な関わりを防止する
- ②子どもの尊厳を守り、暴言、暴力によらない異学年集団の関係性の構築を図る

6. 環境整備

- ①安全・衛生面に配慮し、随時施設全体の環境を把握し、整備に努める
- ②学習活動及び、発達段階にふさわしい遊びの提供に努める
- ③環境整備を通して社会のルールと、共同生活のきまりについて働きかける
- ④感染予防対策として、3蜜を避ける活動環境を整備すると共に、手洗い、消毒、マスクの着用を指導徹底する